会　議　録

会 議 名	令和６年度 第１回丸亀市行政評価委員会
開催日時	令和６年５月９日（木）14:00～15:40
開催場所	丸亀市役所　４階特別会議室
出席者	出席委員 岩倉洋平、鹿子嶋仁、佐藤友光子、髙濵和則、嵯峨根真千子、松村昌子 欠席委員 なし 事務局 市長公室長　栗山佳子 （市長公室政策課）課長　真鍋裕章、副課長　藤井慶子、主査　大川智
議　題	１．令和５年度行政評価（外部評価）結果の対応について ２．令和６年度行政評価について ３．その他
傍聴者	０名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
真鍋課長	ただ今より、第１回丸亀市行政評価委員会を開会します。はじめに４月の人事異動で新たに配属された職員を紹介します。
藤井副課長	＜自己紹介＞
真鍋課長	議事に入る前に本日の会議資料を確認します。 それでは、丸亀市附属機関設置条例第７条に基づき、会長に議長をお願いします。
鹿子嶋会長	本日６名全員の委員のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定に基づき会議が有効に成立していることを報告させてします。 では、議事の１「令和５年度行政評価（外部評価）結果の対応について」事務局の説明をお願いします。
大川	＜資料に基づき説明＞
鹿子嶋会長	デマンド交通の実証実験の利用者が伸び悩んでいると聞きました。令和６年度も継続するのであれば、その要因を分析し生かしていく必要があると思います。
大川	利用者が伸び悩んだ理由としては、周知期間が短かったことが挙げられます。令和６年度はその反省を生かし、対象地域において、市広報５月号の折り込み、ポスティングなど様々な機会を捉えて周知に取り組んでいます。その結果、昨年度の月平均利用者が約 80 人だったのに対し、４月は約 200 人と利用は増えています。

髙濵副会長	交通結節点の整備に向けては、丸亀市外から通学や通院される方の利便性を反映させるとともに、ＪＲ等のダイヤなどのデータを取り込みながら検討していただきたいと思います。 また、団塊の世代が免許返納を開始する前に、デマンド交通も含めた公共交通の様々な検証を進め、次のステップにつなげてください。
鹿子嶋会長	瀬戸内国際芸術祭に向けた機運醸成については、近隣住民の来訪につながる取組に加え、急増している外国人観光客の誘客も重要と感じています。丸亀うちわの取組が選出された世界の持続可能な観光地 TOP100 は、世界にＰＲできる材料だと思いますので、連携した取組の検討をお願いします。
嵯峨根委員	外国人は、TikTok や Instagram など SNS を見て旅行先を決める方が多いと認識しています。外国人観光客が増えているこのチャンスを生かすため、来訪者に SNS に投稿していただけるような仕組みを検討していただきたいです。
岩倉委員	インバウンド対応として、商店街や駅周辺における住民の受入体制が整っていないとうまく循環しません。言葉の壁を解消するコミュニケーションツールの導入など、支援する仕組みができれば住民の参加意識が高まり、交流に向けたマインドの形成につながると考えています。 また、外国人は日本の普段の暮らしが見たいという感情がありますので、過度な営業などは必要ないと思います。
髙濵副会長	観光協会では、持続可能な観光地 TOP100 に２年連続選出されるよう準備を進めています。これは、単に観光客を増やすことだけではなく、ＳＤＧｓや伝統技術の継承など、受入体制を整えることに重きを置いていますので、引き続きご理解とご支援をお願いします。
嵯峨根委員	うちわづくりの工程を見学できるようなツアーの造成はできますか。外国人が刀鍛冶に関心を持ち、日本へ移住し技術を継承したという話を聞きました。
髙濵副会長	現在、中津万象園に隣接するうちわミュージアムで、うちわづくりの全工程をマイスターが手掛けています。ご意見いただいた部分も含め、受入体制を整えていきたいと思います。
鹿子嶋会長	ご意見やご質問がなければ、議事２「令和６年度行政評価について」事務局より説明をお願いします。
大川	＜資料に基づき説明＞

鹿子嶋会長	令和６年度の外部評価については、例年の手法に合わせ総合計画の５つの基本方針から１事業ずつ選定し、５事業を評価することでよろしいでしょうか。 ＜了承＞
鹿子嶋会長	評価候補事業一覧を見ますと大変多くの事業があり、一つひとつ確認していくには時間を要することから、まずは事務局の提案をお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。 ＜了承＞
大川	基本方針Ⅰ：№.９まる育サポートの充実 基本方針Ⅱ：№.13 カーボンニュートラルの推進　又は №.14 ごみ分別収集の推進 基本方針Ⅲ：№.33 産業教育の充実　又は №.34 インターンシップの充実 基本方針Ⅳ：№.51 地域で支え合う環境の充実 基本方針Ⅴ：№.70 多様な情報発信の充実　又は №.71 地域情報化の推進 以上の事業を提案します。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅰについては、事務局より「№.９まる育サポートの充実」と提案がありましたがいかがでしょうか。
岩倉委員	「№.６待機児童の解消」について、昨年度の待機児童数の状況を教えてください。
大川	年度当初は０人を継続していますが、年度末には約 200 人待機児童が発生している状況です。
松村委員	待機児童を解消して欲しいという市民ニーズがあるのでしょうか。高松市など他市と比較すると充足している印象を受けます。
鹿子嶋会長	待機児童０人が望ましくはありますが、一定程度充足していると思います。
髙濵副会長	需要と供給のバランスはある程度取れていると感じています。行政の役割は、年度末の待機児童数を把握し、次年度に待機児童発生させないことに尽きますので、「№.９まる育サポートの充実」の方が議論が深まると思います。
松村委員	「№.10 発達障がい児支援の充実」も重要と感じています。就学に困難を抱えている子どもなどの問い合わせが増えており、その支援の充実などを議論すること

	で、こども家庭センターの設置にもつながると考えています。
栗山市長公室長	まる育サポートのうち、「あだぁじぉ」では、発達障がいや不登校など家庭が抱える子育て相談の全般を受け付けるとともに、必要に応じて関係機関へつなぐ役割を果たしているので、ご意見いただいた内容もヒアリングできると思います。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅰについては、「№９まる育サポートの充実」でよろしいでしょうか。 ＜了承＞
鹿子嶋会長	基本方針Ⅱについては、事務局より「№13 カーボンニュートラルの推進」又は「№14 ごみ分別収集の推進」と提案がありましたがいかがでしょうか。
髙濵副会長	「№14 ごみ分別収集の推進」の成果指標が伸び悩んでいると説明がありましたが、どのような指標を設定しているか教えてください。
大川	①1 人 1 日当たりのごみの排出量、②資源ごみの収集率、③リサイクル率の３つを設定しており、②③が伸び悩んでいます。
鹿子嶋会長	「№14 ごみ分別収集の推進」は、従来の取組をベースに継続している取組で、委員会として提言することも限られるため、政策的な問題も含め「№13 カーボンニュートラルの推進」が良いと思います。
髙濵副会長	「№13 カーボンニュートラルの推進」は、企業も含め国全体で取り組んでいかなければならない取組です。温室効果ガス排出量の削減といった定量的な話はこれからの話になりますが、現在の取組が今後どう影響するかを中心に評価したら良いと思います。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅱについては、「№13 カーボンニュートラルの推進」でよろしいでしょうか。 ＜了承＞
鹿子嶋会長	基本方針Ⅲについては、事務局より「№33 産業教育の充実」又は「№34 インターンシップの充実」と提案がありましたがいかがでしょうか。
髙濵副会長	昨今の人手不足により就活の選択肢が広がっている状況に鑑みるとインターンシップを大学のカリキュラムに組み込み、教育の一環として取り組んでいるドイツのように日本においても、大学等のカリキュラムの改革を進めていただきたいと考えています。

	また、地元就労者は、県内大学の進学者増加に合わせ増えている状況です。
鹿子嶋会長	私が所属する香川大学においてもインターンを単位制で実施しており、大学も変わろうとしていることが伺えます。 提案ですが、「№33 産業教育の充実」と「№34 インターンシップの充実」合わせて評価してはいかがでしょうか。両事業とも地元就労の促進につながる取組です。 ＜了承＞
鹿子嶋会長	基本方針Ⅳについては、事務局より「№51 地域で支え合う環境の充実」と提案がありましたがいかがでしょうか。
岩倉委員	「№９まる育サポートの充実」と近い取組だと認識しています。日本全体の課題ではありますが、丸亀市としてどう進めていくのかを評価できればと思います。
鹿子嶋会長	基本方針Ⅳについては、「№51 地域で支え合う環境の充実」でよろしいでしょうか。 ＜了承＞
鹿子嶋会長	基本方針Ⅴについては、事務局より「№70 多様な情報発信の充実」又は「№71 地域情報化の推進」と提案がありましたがいかがでしょうか。
佐藤委員	「№70 多様な情報発信の充実」を進めていくためには、コンテンツを作るスペシャリストが必要だと思います。
大川	組織機構の見直しにより４月から広報戦略室を設置し、情報発信を強化しようと進めています。
鹿子嶋会長	情報発信の手法が適切かどうか、また発信媒体を増やすといった議論に留まりそうな懸念はあります。バズるような魅力的な情報発信をするためには、大手広告代理店やYoutuberに発注するなど、多額の予算を投入する必要があると思います。
栗山市長公室長	発信する情報とそれを届けたい対象の属性に応じて、どのツールを使うか見極めながら新しい媒体を取り入れてきました。これからはその媒体をより効果的に使っていく手法を研究する必要があると思います。
岩倉委員	「№71 地域情報化の推進」の取組が、高齢者向けのスマホ教室ぐらいであることを踏まえると、「№70 多様な情報発信の充実」の方が課題は大きいと感じました。

栗山市長公室長	「№70 多様な情報発信の充実」は、多様な情報発信手段を効果的に活用し必要な情報を届けていく取組で、「№71 地域情報化の推進」は、デジタル化についていけない高齢者などを社会全体で支援していく取組になります。
髙濵副会長	情報発信は誰でもできる一方で、受信は世の中にあふれている情報を取捨選択できない人もいることから全員ができる訳ではありません。 また、スマホで情報を受信できる人が限定的であるため、紙媒体は必要です。
鹿子嶋会長	以前市が実施したアンケート結果でも広報紙で情報を得ているとの回答が一番多かったことから、デジタル媒体より紙媒体の方が効果的ではないかと思います。
髙濵副会長	広報紙に必要な情報を掲載し、必ず見てもらえるような仕組みをつくることで、情報の伝わり方などが変わってくると思います。
松村委員	情報発信は、「№51 地域で支え合う環境の充実」にもつながってくると思います。本当に困っている方に必要な情報を発信することは、デジタル媒体や紙媒体だけではなく、場合によっては直接届ける手法なども考えられます。
鹿子嶋会長	「№71 地域情報化の推進」も課題を含んでいると思いますが、広報紙をはじめとする情報発信の手法について、包括的にヒアリングし議論できればと思います。 基本方針Ⅴについては、「№70 多様な情報発信の充実」でよろしいでしょうか。 ＜了承＞
鹿子嶋会長	令和６年度の外部評価は、「№９まる育サポートの充実」、「№13 カーボンニュートラルの推進」、「№33 産業教育の充実」と「№34 インターンシップの充実」、「№51 地域で支え合う環境の充実」、「№70 多様な情報発信の充実」の事業となりました。第２回会議に向けてヒアリング資料の準備などをよろしくお願いします。 以上で、議案については終了しました。その他で、事務局より何かありますか。
大川	＜今後の日程等について説明＞
鹿子嶋会長	それでは、本日の会議を終了します。 （会議終了）